



令和 3. 375 号

【つくし園】

〒791-8041

松山市北吉田町

77-34

TEL(089)951-5331

FAX(089)951-5348

『ひと夏の大冒険』



生活支援員 小出 旺次郎

毎年夏になると思い出す記憶、いついつたものは皆さん意外とあると思います。私の場合は高校生の夏休み頃「夜中に友人と海に貝を獲りに行く」という、ちょっと磯臭いスタンドバイミーのような記憶がよみがえってきます。特別事件のない日々を過ごしているでこの記憶について書いたものを巻頭文とさせて頂きます。

そもそも少年時代の私がどういった人かと言えば犯罪行為や人に危害を加えることはしないが校則にはゆるく反発する少年であり、原付免許を取ったり通学中にイヤフォンで音楽を聴いたりする程度の悪さをする学生でした。さらに叱られると直ぐ謝る程度にはプライドも低く、まさに「小悪党」と言える言葉がピッタリでした。

そんな私が16歳の夏に友人からある電話がきます。「海に行ってカメノテ獲ろうぜー」このカメノテと言っているのは貝の種類のことで塩ゆでにするの美味しいです。この友人は10歳の夏に海でこれを食べたからその味に衝撃を受けたらしく定期的に「カメノテ食いたい」と脈絡無く呟く程度にはカメノテに人生を変えられたようです。もし、この友人に夏になると思い出す記憶は？と聞くと間違いなくカメノテと答えるでしょう。

特別すること無かった私はとりあえず友人宅で落ち合ひ原付で海へ向かうことになりました。この時にぎゅんとヘルメットを被り二人乗りなどせず、それぞれの原付で向かう辺りに私の小悪党ぶりが表れています。しかし小悪党ながら深夜の大冒険のようで少しワクワクしたのを覚えています。

夜の十時頃、バケツを足の間で挟み気分はイージーライダーよろしくブンブンとエンジンをぶんぶんしながら夜中の道を駆け抜け気持ちよくなっている途中です。「その原付停まりなさい」と後方からついて来るミニパトが一台。停まれと言われれば停まってしまつのが小悪党、そのまま降りてきた警察官に住所、氏名、学校名を聞かれ持ち物検査をされました。なぜこんな時間に？という質問に「貝を獲りに・・・」と説明する情けなさは今でも忘れられません。ひとしきり色々と聞かれた後に家に帰るよう促されたため原付で素直に家路に着くことに。家に帰ってから飲むコーラの味がしょっぱく感じたのは、ひと夏の大冒険を終え、私が少し大人になったからなのでしょう。

夏の空を見るたびに、きつと私は補導されたあの国道沿いで思ふのを思い出します。

9月の開園日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

・18日土曜日は開園日です。

9月の行事予定

- 22日(水)・・・カラオケパーティー
- 28日(火)・・・避難訓練 ひなんくんれん
- 29日(水)・・・月末大掃除 げつまつおおそうじ
- 30日(木)・・・集団検診 しゅうだんけんしん

※感染症拡大により変更になる場合があります。



お知らせ



8月に日々の生活支援の時間に使用するタブレットを本棟用、作業棟用に2台購入しました。動画と音楽で体操を分かりやすく説明したり、ルームランナーやストレッチの際にはリラックスしたり興味を持てるように、動画を使用します。

利用者の方で興味のある方も多く、こういった音楽が好きなのが知ることが出来る機会も増えたので今後も活動性の向上を目的として適切な場面で使用できればと思います。



つき かい わぶん かいけん
月に2回の和文化体験!

えん ちや

つくし園のお茶クラブ

お作法や文化に触れながらもゆったりと
過ごすつくし園のお茶クラブ!

つくし園の毎週水曜日は余暇活動の時間になっており、い

くつかの中から選択して活動するクラブを提供しています。

その中のお茶クラブは毎月2回行われており講師の方を招

いて本格的なお茶の時間を体験できる活動となっています。

お茶を通して作法やもてなしの心を学べる侘び寂びめいた

お茶クラブをご紹介します。



お菓子です。
どうぞ。

お茶の前にはまずはお菓子を頂きます。お菓子が出されると少し器をもち上げ頭を下げてから懐紙の上にお菓子をのせて頂きます。

利用者の方は「これやり方あってる?」と少し自信なさげにお菓子を頂いていました。



以前はつくし園の和室を使って行っていたお茶クラブですが新型コロナウイルス感染予防のため、通気も良く広い会議室で行っています。



お手前
頂戴します。

いよいよお茶を頂きます。まずは点ていただいた方に感謝を込めて頂戴します。右手は立て、茶碗を時計回りに2回まわしてから飲みます。自信なさげにしながらも皆さんしっかりとお茶を頂くことができていました。



これは...
良い器!!



お茶を頂いた後は茶碗を拝見。綺麗な茶碗を褒めるのはもてなして下さっている相手への気配りでもあります。一息ついたらまた会話を楽しまします。皆さん講師の方に聞いて欲しい話がたくさんあるようでした。